

資料

(1) 「ちばエコ農業」化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）

ア 土耕栽培「化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）」

分類	作物名（作型等）	化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥施用量 (kg/10a)*	収穫期	備考	
水稻	水稻	7	4.5	500～1000			
	乾田直播	8	4.5	1000			
普通 畑作物 等	小麦	5	9	1500			
	さつまいも	早掘	5	1.5	500	7～8月	化学合成農薬 は苗切り離し以 降の使用回数
		トンネル	5	1.5	500	7～8月	
		普通	6	1.5	500	9～11月	
	落花生	マルチ	2	1.5	500		
	大豆	転換1～2年目	4	3	—		転換畑以外の 畑作を含む
		転換3年目以降		6			
茶	成木園	6	24	—			
野菜	だいこん	春どり	4	7.5	2000	3～4月	
		初夏どり	6			5～6月	
		秋どり	6			10月	
		冬どり	5			4.5	11～2月
	にんじん	トンネル春どり	6	10	2000		
		秋冬どり	8	7.5			
	こかぶ	冬どり	3	9	1000	12～3月	
		春どり	3	13		4～5月	
		初夏どり	4	6		6月	
		夏どり	4	1.5		7～9月	
		秋どり	5	6		10～11月	
	さといも	マルチ	5	9	2000		種芋を含む
		トンネル	3	7.5	1000		
	やまといも	普通	11	10.5	1000		
	じねんじょ		8	16	2000		
	アビオス	露地	0	2	2000	1～2月	
	キャベツ	春どり	8	14	2000	4～6月	
		秋どり	8	14		10～11月	
		冬どり	8			12～3月	
	ねぎ	春どり	15	14	2000	4～5月	
		坊主しらず	13	15	2000	5～6月	
		夏どり	11	12		6～10月	
	葉ねぎ	秋冬どり	18	13	2000	10～3月	
		春どり	4	10	2000	3～5月	
		夏どり	5	9		6～9月	
		秋どり	5	10		10～11月	
	冬どり	4	11	12～2月			
	根みつば		2	5	1000	2～4月	
	レタス	秋どり	7	10	2000	10～11月	
		冬どり	9	12	2000	12～2月	
春どり		9	12	2000	3～5月		
非結球レタス		7	12.5	2000		リーフレタス、 かきちしゃ(サ ンチュ等)	
エンダイブ	秋冬どり	5	12.5	2000	10～3月		
ほうれんそう	春どり	3	6	2000	3～5月		
	夏どり	4			6～9月		
	秋どり	4			10	10～11月	
	冬どり	3			12.5	12～2月	
こまつな	春どり	3	10	2000	3～5月		
	夏どり	3	5.5	2000	6～9月		
	秋どり	4	10	2000	10～11月		
	冬どり	3	8.5		12～2月		
みずな	春どり	2	5	2000	3～5月		
	夏どり	3	3.5		6～9月		
	秋どり	2	5		10～11月		
	冬どり	2	6.5		12～2月		

分類	作物名(作型等)		化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥施用量 (kg/10a)*	収穫期	備考
野菜	ルッコラ	春どり	2	6	2000	3~5月	
		夏どり	3	6		6~9月	
		秋どり	2	10		10~11月	
		冬どり	2	10		12~2月	
	からしな	冬どり	2	10	2000	2~3月	
	はくさい	秋冬どり	6	13	2000	11~1月	
	食用なばな	秋冬どり	7	20	2000		
	しゅんぎく	秋冬どり	7	11.5	2000	10~4月	
		春どり	6	5	1000	4~6月	
	にら	ハウス・トンネル	播種から1年間 19 かつ収穫1期につき2 次の1年間 19 かつ収穫1期につき2	播種から1年間 17.5 次の1年間 9	3000	11~6月	
		露地夏どり	播種から1年間 14 かつ収穫1期につき2 次の1年間 17 かつ収穫1期につき2	播種から1年間 17.5 次の1年間 9	3000	7~9月	
	茎葉かんしょ		2	7	1500		化学合成農薬は苗切り離し以降の使用回数
	セルリー	ハウス春どり	11	25	5000	2~3月	
	ブロッコリー	秋冬どり	6	14.5	2000	10~3月	
	カリフラワー	秋どり	3	15	3000		苗購入の場合
	チンゲンサイ		5	7.5	2000	周年	
	タアサイ		5	7.5	2000	周年	
	大葉		10	14	3000		
	モロヘイヤ	露地	2	14	1000	7~9月	
	えだまめ	ハウス	3	2.5	1000		
		トンネル	3	2.5	1000		
		マルチ	4	2.5	1000		
		露地	5	3	1000		
	さやえんどう	露地	5	4.5	2000		
	そらまめ	トンネル	5	7.5	2000		
		マルチ	5	4.5	2000		
	食用とうもろこし	ハウス半促成	2	17	3000	5~6月	
		トンネル	3	17	3500		
		マルチ		16	2000		
		露地	4	13.5	1000	7~8月	
	トマト	促成	28	26	3000	10~6月	
			21	18.5		10~2月	
		半促成	17	18.5		2~6月	
			15	18.5		4~7月	
	抑制	15	12	2000			
	ミニトマト	促成	23	28.5	3000	10~6月	
		半促成	15	18.5		4~6月	
		抑制	16	11		8~12月	
	きゅうり	促成	32	30	3000		
		抑制	20	13.5	2000		
ハウス早熟		20	14	2000			
しろうり	ハウス半促成	15	16	3000	5~9月	苗購入の場合	
	トンネル・露地	6	12	2000	6~8月	苗購入の場合	
ズッキーニ	抑制	7	9	2000	9~12月		
	半促成	6	11.5	2000	1~5月		
	ハウス初夏どり	8	8.5	2000	5~8月		
にがうり	ハウス夏どり	9	19	1000	5~8月		
	露地夏どり	9	20.5	1000	7~9月		
すいか	ハウス半促成	8	10.5	2000	5~6月		
	トンネル	13	12.5	1500	6~7月		

分類	作物名(作型等)		化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥施用量 (kg/10a)*	収穫期	備考
野菜	小玉すいか	ハウス半促成	8	9.5	2000	5~6月	
		トンネル	14	10.5	1500	6~7月	
	メロン	ハウス半促成	15	7	2000	5~6月	
		トンネル	14	8		6~7月	
	温室メロン	夏どり隔離床栽培	11	8.5	1200	3~8月	
		地床栽培	12	6.5	2000		
	いちご	促成	21	18.5	3000		化学合成農薬はランナー切り離し以降の使用回数
	さやいんげん	ハウス半促成	10	12	2000		
		トンネル	10	13.5			
		抑制	4	9.5			
	ばれいしょ	マルチ	7	7.5	1200		
		露地	7	7.5	1200		
	ごぼう	秋冬どり	5	11	1000	6~8月	
		春夏どり	4	11			
	れんこん	普通	2	13.5	—		
		ハウス	2	13.5	—		
	根しょうが	マルチ	7	11	2000		
	葉しょうが	ハウス	3	7.5	1000		
	アスパラガス	半促成(1年目)	16	16	3000		定植年の12/31まで
		半促成(2年目以降)	16	20.5	2000		1栽培期間は1/1~12/31
	たまねぎ	マルチ	8	12	2000		
		露地	5	15	2000	5~6月	
	葉たまねぎ	トンネル	2	12	2000	1~3月	
	らっきょう	マルチ	3	11	2000	6月	
	なす	促成	28	32	3000	9~6月	
		半促成	19	24		2~7月	
20			30	2~11月			
トンネル		15	23	5~8月			
	露地	13	17.5	3000	6~9月		
かぼちゃ	トンネル	6	8	2000			
ピーマン	促成	27	30.5	3000	11~6月		
	半促成	16	18.5		4~7月		
		27	23		4~11月		
ししとうがらし	半促成	13	18.5	3000	5~10月	苗購入の場合	
	露地	8	18.5		6~9月	苗購入の場合	
オクラ		3	11.5	3000			
果樹	日本なし		26	10(清耕栽培)	1500		
				13(草生栽培)			
	温州みかん		13	13.5	1500		
	中・晩生かんきつ類		5	15	1500		
	ゆず		7	8	1500		
	レモン	露地	5	15.5	1000		
	びわ		4	8	1000		
	キウイフルーツ		3	10	1500		
	いちじく		9	8	1000		
	ぶどう		13	3	1000		
	くり		3	8	1000		
	かき		4	8	1000		
	うめ		6	7	1500		
	ブルーベリー	露地	3	4.5	500	6~9月	
		雨よけハウス(ポット栽培)	3	0.0288	—	5~7月	化学肥料使用量は「g/ℓ」

(注1) 算出根拠

①堆肥施用量: 上限ではなく、使用の目安

②化学合成農薬使用回数: 「ちばエコ農業」技術部会で定めた延べ成分使用回数の1/2

③化学肥料使用量: 「ちばエコ農業」技術部会で定めた窒素施肥量の1/2

(注2) 収穫期が基準月を越えて前後月にまたがる場合は、1ヶ月未満に限り認める

イ 養液栽培「化学合成農薬の使用基準（上限）」

分類	作物名（作型等）	化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	収穫期	備考	
野菜	養液栽培みつば	2	周年		
	養液栽培葉ねぎ	3	周年		
	養液栽培非結球レタス	5	周年	サラダ菜を含む	
	養液栽培ほうれんそう	1	周年		
	養液栽培クレソン	3	周年		
	養液栽培トマト	促成	28	10～6月	
			21	10～2月	
		半促成	17	2～6月	
			15	4～7月	
	抑制	15			
	養液栽培ミニトマト	促成	23	10～6月	
		半促成	15	4～6月	
		抑制	16	8～12月	
	養液栽培いちご	促成	21		化学合成農薬はランナー切り離し以降の使用回数

(注1) 算出根拠

①化学合成農薬使用回数:「ちばエコ農業」技術部会で定めた延べ成分使用回数の1/2

ウ 林産物（たけのこ）「化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）」

分類	作物名（作型等）	化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素分量 kg/10a)	収穫期	備考
	たけのこ (もうそう竹)	0	17	12～5月	竹林の適正な密度をたもつため、親竹を年1回以上、伐竹すること。

(注1) 算出根拠

①化学合成農薬使用回数:使用しない。

③化学肥料使用量:「ちばエコ農業」技術部会で定めた窒素施肥量の1/2

(2) 「ちばエコ農業」化学合成農薬に含めない農薬

農薬	備考
除虫菊乳剤及びピレトリン乳剤	除虫菊から抽出したものであって、共力剤としてピペロニルブトキサイドを含まないものに限ること。
なたね油乳剤	
マシン油エアゾル	
マシン油乳剤	
大豆レシチン・マシン油乳剤	
デンブ水和水剤	
脂肪酸グリセリド乳剤	
メタアルデヒド粒剤	捕虫器に使用する場合に限ること。
硫黄くん煙剤	
硫黄粉剤	
硫黄・銅水和水剤	
水と硫黄剤	
硫黄・大豆レシチン水和水剤	
石灰硫黄合剤	
シイタケ菌糸体抽出物液剤	
炭酸水素ナトリウム水溶剤及び重曹	
炭酸水素ナトリウム・銅水和水剤	
銅水和水剤	
銅粉剤	
硫酸銅	ボルドー剤調製用を使用する場合に限ること。
生石灰	ボルドー剤調製用を使用する場合に限ること。
天敵等生物農薬	(附表に掲げる農薬のとおり)
性フェロモン剤	農作物を害する昆虫のフェロモン作用を有する物質を有効成分とするものに限ること。
クロレラ抽出物液剤	
混合生薬抽出物液剤	
ワックス水和水剤	
展着剤	(注)
二酸化炭素くん蒸剤	保管施設で使用する場合に限ること。
ケイソウ土粉剤	保管施設で使用する場合に限ること。
食酢	

注：本表は有機JAS規格別表2に準拠するものであるが、要領本文第4の3(1)ウ但書の規定により、展着剤の使用は、その有効成分に関わらず化学合成農薬の使用回数に含めないものとする。

内容についての問合せ先（各農林振興センター振興普及部改良普及課）

千葉農林振興センター	0 4 3 (3 0 0) 0 9 5 0
東葛飾農林振興センター	0 4 (7 1 6 2) 6 1 5 1
印旛農林振興センター	0 4 3 (4 8 3) 1 1 3 0
香取農林振興センター	0 4 7 8 (5 4) 1 3 3 8
海匝農林振興センター	0 4 7 9 (6 2) 0 3 3 4
山武農林振興センター	0 4 7 5 (5 4) 0 2 2 6
長生農林振興センター	0 4 7 5 (2 2) 1 7 7 1
夷隅農林振興センター	0 4 7 0 (8 2) 2 2 1 3
安房農林振興センター	0 4 7 0 (2 2) 8 1 3 2
君津農林振興センター	0 4 3 8 (2 3) 0 2 9 9

著 作 千葉県農林水産部担い手支援課
各農林振興センター

編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課

発行年月 平成20年3月